

令和元年度 南丹広域振興局 重点目標

| | 重点事項 | 成果目標（注） |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | <p>【「森の京都・京都丹波」ブランドの強化】</p> | <p>京都スタジアムのオープンを見据え、北部観光の入り口となる亀岡から地域全体への誘客を進めるため、京都丹波の魅力を効果的に発信します。</p> <p>[京都スタジアムオープンの機運醸成と森の京都・京都丹波の魅力発信]</p> <p>森の京都・京都丹波EXPOの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都スタジアムオープンの機運醸成と、管外からの多くの誘客を目指し、スタジアム見学ツアーや親子サッカー教室をはじめ、京都丹波の食材を活かした食の体験等の催しを開催（来場者数 15,000人） <p>「京都丹波・写ガール隊」による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学等と連携した「京都丹波・写ガール隊」が、若者の視点から、京都丹波の新たな魅力を再発見し、SNS等を活用して国内外に発信（SNSフォロワー数 3,000件） <p>[森の京都の豊かな地域資源を活かした賑わいづくりの推進]</p> <p>周遊・滞在型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都丹波観光のモデルコースを紹介するプロモーション動画を作成し、周遊・滞在型観光を推進（動画設置箇所数 20箇所） <p>京都丹波・食のギャラリー事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで開発してきた「京都丹波イチ推しの食」やスペシャルBBQ等のコンテンツを「京都丹波の食・味めぐりガイドブック」により効果的に発信（配付先 60箇所） <p>京都丹波の新たな魅力発見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都丹波の魅力に触れる観光のアイデアを広く募集するコンテストを実施し、森の京都DMOと連携して、周遊・滞在型観光ツアーを造成・実施（応募点数 若者視点部門（高校生・大学生対象）10点、ロケ地観光部門（地元住民対象）10点（ツアー造成・実施 2回） <p>広域観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「京都丹波観光協議会」（京都府、管内2市1町）において、森の京都DMO等と連携したオール京都丹波での観光振興の実施（観光キャンペーンの実施 15回） 「大丹波観光推進委員会」（京都府、兵庫県、両府県の7市町）において、明智光秀ゆかりの地や観光コンテンツに係る情報共有のための研修会の開催 |

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 南丹広域振興局 重点目標

| | 重点事項 | 成果目標（注） |
|---|--|--|
| | | <p>「京都丹波木づかい運動」の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都丹波産木材の良さ及び使用方法を広くPRするため、地元産木材を活かした食器・小物類の試作品を飲食店等で実際に使用してもらう等の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> （木工製作者や料飲店等取扱事業者の「木づかいネットワーク」の構築） （木工製作者や料飲店等取扱事業者の「木づかい運動協力店」の登録 20 店） （木づかい製品の展示 5 箇所） |
| 2 | <p>【オール京都丹波による移住・定住プロジェクトの推進】</p> | <p>① 大都市に近く暮らしやすいという京都丹波の強みを活かし、地元企業と連携してUターンの促進に取り組めます。また、都市・農村交流の推進を通じて、移住・定住を促進します。（移住者目標数 300 人）</p> <p>[Uターン対策の推進]</p> <p>森の京都・京都丹波ライフスタイルを提案するセミナー、相談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代や独身者等を対象に、既移住者の暮らしや移住のノウハウ、地域の魅力を伝えるセミナー、相談会を開催（12 回、300 人） ・ 地元企業への就職を支援するため、企業の魅力や採用情報を一元的にとりまとめ、Web や冊子等で提供（30 社） <p>移住希望者と地域との交流会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市部に居住する移住希望者を対象に地元企業情報を発信。また、20 代から 30 代のUターン希望者をターゲットとした「ふるさと移住フェス」等の交流イベントを開催（4 回） <p>[都市・農村交流の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森の京都DMO等と連携し、京都丹波の豊かな食と自然を活かした都市農村交流ツアーや教育民泊を実施し、交流人口の拡大を推進 <ul style="list-style-type: none"> （都市農村交流ツアー 2 回、80 人）（教育民泊の実施校数 25 校、1,300 人） |

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 南丹広域振興局 重点目標

| | 重点事項 | 成果目標（注） |
|---|---------------------------------|---|
| | | <p>② 地域全体で子育て家庭を支える環境づくりを推進します。 子育て支援ネットワークの充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都丹波地域が子育てしやすい地域と実感できるよう、府、2市1町、子育て支援NPO等で構成する推進協議会を立ち上げ、京都丹波地域全体で子育て家庭を支えるための啓発イベントを開催するなど、「子育て文化」を醸成（1回、1,000人） <p>子育て支援リーダー等養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援団体等のリーダーを対象とした専門講座や、産前産後支援に関わる子育てピアサポーターを対象とした研修を開催 （子育て支援リーダー養成塾 3回、100人）（ピアサポーター研修 3回、60人） |
| 3 | <p>【健康長寿推進プロジェクトの推進】</p> | <p>健康長寿で誰もが活躍できる地域づくりをオール京都丹波で進めるため、市町の地域包括ケアの取組支援や、高齢者や障害者等の社会参加を推進します。 [市町の地域包括ケアの取組支援] 介護予防や健康づくりへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なんたん元気づくり体操」や「京都丹波の森を歩こう府民運動」を普及するためのリーダー（指導者）を育成し、介護予防のための取組を推進 （リーダー育成人数 40人）（ウォーキング参加者数 延べ1,500人） <p>在宅療養者の栄養管理支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者や施設入所者が安心して在宅療養に移行できるよう、家庭と施設間で、療養者の栄養・食事情報を共有する「栄養管理連携パス」を構築 <p>[高齢者や障害者の社会参加の推進] 生涯現役いきいき支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の就労や、ボランティア活動、スポーツ・文化活動への参加に必要な情報を一元的にとりまとめた冊子を作成し、相談会を開催（配付先 250箇所、相談会 2回、100人） |

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 南丹広域振興局 重点目標

| | 重点事項 | 成果目標（注） |
|---|--------------------------------|---|
| | | <p>「ぬくもり京都丹波」製品の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉事業所が作成した「京都丹波オリジナルブランド『ぬくもり京都丹波』（ほっとはあと製品）の認知度向上、販売促進に向けた取組を実施 （ショッピングモール販売会の開催 購入者数 1,200人、売上げ 1,000千円） |
| 4 | <p>【次代の京都丹波産業活性化支援】</p> | <p>京都丹波の農畜産業の人づくりや生産性の向上、中小企業の支援強化、商店街の誘客促進等を行います。 [京都丹波の農畜産業担い手育成・生産性向上]</p> <p>農畜産業経営チャレンジセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農畜産業の若手経営者を対象とした「チャレンジセミナー」や和牛繁殖、増頭に挑む「京都丹波和牛塾」を開講し、京都丹波地域の農畜産業の未来を担うトップランナーを育成 （京都丹波和牛塾・経営チャレンジセミナーの開催 10回、50人） <p>「丹波くり」の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者やJA、市町と連携して、丹波くりの生産振興や品質向上の取組を推進 （「丹波くり」生産技術向上セミナーの開催 3回、60人） （「丹波くり広域品評会（大丹波連携）」の開催 1回） （「丹波くりまつり」の開催 1回） <p>スマート農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林事業者数の減少に対応するため、中山間地に適応した水田水管理省力化システムやドローン防除などのスマート技術を導入することにより、作業性及び生産性の向上を促進 （スマート農業モデル事業の実施及び実証 2箇所） |

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 南丹広域振興局 重点目標

| | 重点事項 | 成果目標（注） |
|---|-----------------------------|---|
| | | <p>[中小企業等の支援] 企業イノベーション支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内市町や商工会・会議所、京都産業 21 等が結成した「京都丹波中小企業支援 A チーム」が、業種・テーマごとの「京都丹波企業情報交換会」を開催し、中小企業の連携等を強化（1 回、50 社） 「京都丹波中小企業支援 A チーム」のメンバーが管内企業を訪問し、商品開発や販路開拓、設備投資、人材確保をワンストップで支援（企業訪問回数 450 回） <p>[商店街の活性化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元商店街が企画する集客イベントに対して、府が運営等を支援し、商店街等への誘客を促進（集客イベント 2 回、参加者数 2,000 人） |
| 5 | <p>【安心と安全のまちの推進】</p> | <p>① 交流と安心・安全の基盤整備を進め、災害に強いまちづくりを行います。</p> <p>[道路整備の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域道路網へのアクセス道路整備 国道 477 号【西田大藪道路】 地域基幹道路の整備 国道 423 号【法貴バイパス】、宮前千歳線【鳴滝工区】、東掛小林線【東別院町東掛】、国道 372 号【南八田道路】、綾部宮島線【肱谷バイパス】等 橋梁老朽化対策 郷ノ口余部線【宇津根橋】 歩行者交通安全対策 園部能勢線【竹井】等 市街地における都市計画道路整備 並河亀岡停車場線【大井町～河原町】 道路防災対策 舞鶴和知線【仏主～細谷】等 地域の生活を支える 1.5 車線の道路整備 上野水原線【坂井】等 |

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 南丹広域振興局 重点目標

| | 重点事項 | 成果目標（注） |
|--|------|--|
| | | <p>[河川整備、土砂災害対策の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川流域全体を捉えた総合治水対策の推進 桂川【亀岡工区】、雑水川、千々川、七谷川、法貴谷川、園部川、本梅川、東所川、高屋川等 土砂災害防止対策の推進 谷山川、篠原西一谷川等 平成30年7月豪雨における土砂災害発生箇所の復旧推進 閉亀川 <p>[農山村地域の安心づくりの推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 治山事業による荒廃した山地の復旧や土砂災害の未然防止等を推進（公共治山事業） 亀岡市本梅町平松滝ヶ谷、同市本梅町平松西山山ノ神、同市東本梅町大内大谷山、南丹市八木町八木、同市美山町中下向、同市美山町内久保、京丹波町上乙見、同町八田 災害の未然防止のため老朽化したため池等の改修を推進 段ノ池、昭和池、上桂川統合堰、奥池・口池（口人）、大保池等 <p>[地域防災力の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災リーダーの育成や防災啓発リーフレットの作成等、地域防災力向上に向けた取組を推進 (3回、100人) <p>② 暮らしの安心まちづくりを推進します。</p> <p>[野生鳥獣被害対策の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町、南丹広域振興局、農林水産技術センター、専門家により鳥獣被害集落診断チームを編成し、集落ごとの被害状況の調査・診断を行い、被害対策の実践に役立てる集落診断カルテを作成するとともに、市町を越えた広域捕獲を実施（カルテ作成集落 20集落）（府営広域捕獲 20回） |

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 南丹広域振興局 重点目標

| | 重点事項 | 成果目標（注） |
|--|------|--|
| | | <p>[子育て支援の充実] 子育て支援リーダー等養成事業【再掲】 ・子育て支援団体等のリーダーを対象とした専門講座や、産前産後支援に関わる子育てピアサポーターを対象とした研修を開催 （子育て支援リーダー養成塾 3回、100人）（ピアサポーター研修 3回、60人）</p> <p>発達障害児はぐくみ事業 ・発達障害児への対応力を向上させるため、就学前児童に関わる療育施設のリーダー層を対象とした実地研修及び当該施設研修を実施 ・発達障害児支援機関の連携会議を開催し、課題や情報共有を促進することにより管内支援機関全体のレベルアップを図り、地域に専門性の高い療育を提供（研修及び連携会議 6回）</p> <p>[スマート環境学習推進事業] ・小学生を対象に、体験型環境学習プログラムによるモデル授業を実施 ・子どもたちに環境やSDGsに関心を持ってもらうため、産官学民連携によるICTを活用した新たな体験型環境学習プログラムを作成 （モデル授業回数 2回）（環境学習プログラム作成数 2）</p> |

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。